

目標の進捗状況報告書

(2012年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本シートでの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	経営戦略研究科・経営戦略専攻
大項目	4 教員組織
中項目	
小項目	4.0.1 教員組織
要素	<p>教育課程における専任の教員を必要と認められる数を任用しているか。</p> <p>教員組織の構成において、「教育研究上の目的」の達成のために必要と認められる授業科目に必要かつ十分な専任の教授又は准教授を任用しているか。</p> <p>教員組織の構成において、「教育研究上の目的」の達成のために必要と認められる実務家教員を任用しているか。</p> <p>教員組織の構成において、「教育研究上の目的」の達成のために必要と認められる専任の教員と非専任の教員との割合に配慮しているか。</p> <p>教員組織の構成において、教員の年齢構成の割合、男性・女性教員の比率及び外国人教員の任用等教員の多様性に配慮しているか。</p> <p>開講授業科目について高度の教育上の指導能力があると認められる下記の各号に該当する専任の教員を、専攻ごとに「文部科学大臣が別に定める数」(平成15年文部科学省告示第53号第1条。以下同じ。)を置いているか。</p> <p>1) 専攻分野について、教育上又は研究上の業績を有する者</p> <p>2) 専攻分野について、高度の技術・技能を有する者</p> <p>3) 専攻分野について、特に優れた知識及び経験を有する者</p>
小項目	4.0.2 教員の資格
要素	<p>教員の任用及び昇任に関する規則及び基準を定めているか。</p> <p>教員の任用及び昇任に関する審査プロセスを明確に定め、客観的な審査をしているか。</p> <p>最近5年間の教育研究業績等により教員の教育上の指導能力を評価する組織的な取組をしているか。</p> <p>専任教員の最近5年間の教育研究業績の資料を開示しているか。</p> <p>実務家教員の実務経験について定期的に評価を行い、授業科目担当の割り当てを適切に行っているか。</p>
小項目	4.0.3 教員に対する教育研究支援
要素	<p>教員の教育研究活動の推進と教員の授業担当時間数との関係について、適切な範囲内にとどめるように配慮しているか。</p> <p>教員の教育研究活動の推進に必要な研究費獲得の支援体制を整備しているか。</p> <p>教員の教育研究活動の推進に必要な事務職員及び技術職員等の支援体制を整備しているか。</p> <p>教員の教育研究活動の推進に必要な教育課程の活性化を図る適切な措置を講じているか。</p>
小項目	4.0.4 教員の任務
要素	<p>教員は、自己点検評価及び学生の授業評価の結果に基づいて、授業の内容、使用教材及び授業方法等の改善を絶えず行っているか。</p> <p>教員は、学習目標の達成のために、先端的な高度専門的知識や技能の教授に努めているか。</p> <p>教員は、学習目標の達成のために、オフィスアワーの設定及び電子媒体等を通じて学生との対話を積極的に図り、学生の学習指導に努めているか。</p>

II. 目標の進捗評価と進捗状況報告(2012.4.30現在の進捗状況報告)

《進捗評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。

進捗評価はA、B、C、Dの4段階とし、2012年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. Improve the educational standard by activating the FD activities. FD活動の活発化による教育水準の向上	→Improve FD activities. (Number of guest speakers and times for inviting them) FD活動の充実(回数及びゲスト・スピーカーの人数)	B	B	B		
2. Further improvements in the level of student satisfaction on the quality of classes offered. (授業の質に関して、学生の満足度を向上。)	→The level of student satisfaction surveyed every quarter (score on Q.13; "Overall, you are satisfied with the course, and recommend it to your fellow students," averaged over all classes). (クォーター毎の学生の満足度調査(Q13の「コースに満足しているか、知り合いに勧めるか」のスコア、全クラスの平均))	B	B	B		
3. Increase in the number of full-time tenured faculty members. (任期の定めのない専任教員の数を増やす。)	→% of full-time tenured faculty members over allocated positions (6). (IMC教員の定員枠に対する任期の定めのない専任教員の比率。)	C	B	B		

4. Promote research by acquiring the out-of-university research fund. 外部研究資金の確保による研究推進	→Increase 1.5 times of out-of-university research fund. 外部研究資金の金額を1.5倍に増加させる	<table border="1"> <tr> <td>C</td> <td>C</td> <td style="background-color: yellow;">B</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	C	C	B		
C	C	B					

☆

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→					
	→					

《進捗状況》

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	昨年度と同様の水準のFD活動であった。FD活動をより活発にするために、評価項目を内容を見直す必要があると感じる。
目標2	We continue to try our best to increase student satisfaction level to the maximum. 学生満足度が最高レベルまで上がるよう引き続き努力する。
☆ 目標3	We will increase the number of full-time tenured faculty members to the allocated level in 2012. 2012年度中に専任教員配分数を充足させる。
目標4	教員チームとして外部研究資金に応募できていないのが現状である。
備考	